



しろね図書館だより

No.106

発行 新潟市立白根図書館
平成21年3月発行
(毎月第1木曜日発行)

完了!

Results

結果

蔵書点数 (冊数) **127,042** 点
(前年比 +59点の増)

内訳

一般書	73,675 点	郷土資料	4,077 点
児童	36,760 点	A V 資料	2,145 点
ティーン	8,292 点	その他	2,093 点

Completing
the inventory

蔵書

2月の

来館者	9,514 人
貸出冊数	10,921 冊
予約件数	211 件

かんりょう!
ぞうしょてんけん

点検

蔵書点検も無事に終わり、3月1日から再オープンすることができました。いつも点検期間にご不便をおかけしてしまいますが、今回はちょっとでも早く開館できるように！ということで職員一同一致団結して不眠不休（一部誇張アリ）で

がんばってみました。

これまで2週間かけていたものが、10日間へと大幅にスピードアップ！

今日からはちょっぴり

スッキリしたキモチで、読書をお楽しみください。



予約ランキング

ただいま人気の本です。しばらくおまちください。

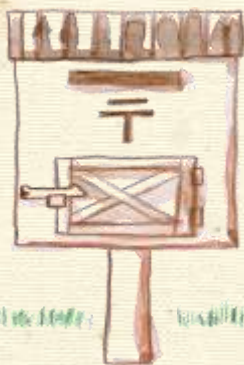
- 1位 聖女の救済 (13名)
- 2位 告白 (12名)
- 3位 ガリレオの苦悩 (10名)
- 4位 悼む人 (8名)
- 5位 夢をかなえるゾウ (6名)
- 6位 ダブル・ファンタジー (4名)

図書館員がおすすめるこの1冊

「こんにちは おてがみです」



中川李枝子 文/山脇百合子 絵 筒井頼子 文/林明子 絵
加古里子 作 富安陽子 文/降矢なな 絵
さとうわきこ 作/こいでやすこ 作
佐々木マキ 作 村山桂子 文/堀内誠 絵
スズキコージ 作 カズコ・G・ストーン作 にしむらあつこ 絵 福音館書店



「こどものとも」の50周年を記念してつくられた絵本です。

みんなが大好きなあの絵本のおともだちからの
手紙がたくさんはいています。

みんなで“こどものともひろば”へ集合！！

手紙を届けるのは ゆうびんやのホネホネさん。

絵本すべてのページに、思い出やおもしろさがいっぱいです。

[司書 大野恵子]

3月の読書会

3月15日(日) 14:00~



読書会は、みんなで同じ本を読んで、その本のことをあれこれおしゃべりする、午後のお茶会みたいな
ものです。毎月紹介している本はカウンターにありますので、まずはどうぞ読んでみてください。
もし本が気に入ったら、読書会もちょっとのぞいてもらえると嬉しいです。
あなたも、本のことをおしゃべりしませんか。おいしいお茶とお菓子を用意してお待ちしています。

そういう茶人に
わたしは
なりたい



雨にもまけず 粗茶一服

松村栄子 著 (マガジンハウス)

「これからは自分らしく生きることにしたんだ」
主人公の遊馬(あすま)は、
弱小茶道家元の跡継ぎを放棄して
家を出てきた18歳。
茶道が嫌で家出したのに、何の因果か、
向かった先は茶道の本場京都だった。
そこで出会うのは、ひとクセもふたクセもある、
個性豊かな茶人たちは、はかり。
彼らに振り回されるドタバタのなかで、
遊馬は葛藤し、そして大人になっていく。
京の茶が香る、青春エンターテインメント。

平成21年2月15日(日) 午後2時

『ななつのこ』

加納 朋子 著 東京創元社



女子大生・駒子の日常で起きるちよっとした事件を作家との手紙のやり取りで解決していく短編集。ミステリーではお約束ともいえる殺人や犯罪の要素は一切なく、読んだ後にはほのぼのとした気持ちになれる一冊。7つの短編に散りばめられた、魅力的な謎とあっと驚く解決。優しく温かい、癒し系ミステリーの傑作です。

★★★ 参加者の感想から ★★★

- タイトルにもあるように7つの短編がおさめられている。1つ1つの話自体でも楽しめるが、連作短編になっているので読み終わると1つの物語になっている。
- 物語の作りが、織り物のように重なっている。主人公駒子の現実生活と作家への手紙と少年はやての物語の3つが交差している。話が重なっているで境目がどこなのか、わかりにくかった。特に導入部分は分かりにくいので物語に入るのが大変だった。入ってしまったえばおもしろいので楽しく読めた。
- 殺人や犯人さがしなどがないので、平凡な日々をミステリーにするのは大変なのかもしれない。「バーストアップ」以外は、強引だなと感じるところがあった。
- 小さな謎をそのままにしないでミステリーに仕上げている。観察力がなければだめだと思っただ。
- 読める子なら小学校高学年〜中学生でも楽しめる作品。少年・はやての物語を集めた『ななつのこものがたり』が児童書で出版されている。大人には『ななつのこ』を読んでから『ななつのこものがたり』を読むことをおすすめしたい。
- ねずみと絵・写真と青い絵の具・恐竜と短冊など物語の中でモチーフになっているものが、つながっていておもしろかった。

□ 主人公が学生だったからよかったのかもしれない。これが主婦だったらどうなっていたのだろうか。

□ 著者は『ななつのこ』で第3回鮎川哲也賞を受賞してデビューしている。その後、駒子シリーズとして『魔法飛行』『スペース』が出版されているのでストーリーは、まだ続いているようだ。著者の他の作品や作風が気になった。

□ 殺人や犯罪ではなく日常生活を扱ったミステリーと主人公が女子学生という点が、北村薫の円紫師匠シリーズ(『空飛ぶ馬』『夜の蝉』『秋の花』など)と似ていると感じた。

★★★★★

さて、今回の読書会は、

松村 栄子 著

『雨にもまけず』

粗茶一服

(マガジンハウス)

3月15日(日) 午後2時

(会場はルーム2)

本は、図書館カウンターで貸し出ししています。どなたでも気軽に参加できますので、どうぞおいでください。

(坂井 智子)

「おこだでませんように」は、いつも怒られてばかりいる男の子が七夕の短冊にかいたお願い事です。なんだかこの一言には心が動かされます。子どものころは泣いてしまうと言葉が濁点ばかりになることがありますよね。そんな様子が頭に浮かんできます。日々の慌しさにうっかりしてしまうとお子さんの失敗に厳しくなってしまうことがあるかもしれません。

子どもたちといっしょに



寂しい思いをさせてしまうことがあるかもしれません。この男の子とお子さんやお孫さんが重なって見えるかもしれません。そんな時はこの男の子のお母さんのようにただぎゅーっと抱きしめてはいかがでしょうか。子育て中のみなさんにおすすめの絵本です。



おこだでませんように

くすのきしげのり 作 石井聖岳 絵 (小学館)

3月の
展示架

眠っているお宝があるかも！？

蔵書点検完了記念 蔵出しフェア

しろね図書館にある、12万冊をこえる本の数々。けれど、いつも手に取れるのはそのうち8万冊にすぎません。では、残りの4万冊はいったいどこに……？ じつは、図書館の奥にある禁断の(?)の書庫にしまい込まれているのです。いつもは日の目を見ることのないこれらの本を、蔵書点検完了記念として、期間限定で特別に大公開！！

3月の行事

3月7日(土)

絵本のじかん 14:10～
おはなし会 14:30～

3月11日(水)

あかちゃんがはじめてであうほん

3月14日(土)

おはなし講習会
おはなしかご例会 10:00～
絵本のじかん 14:10～
おはなし会 14:30～

3月15日(日)

読書会(ル42) 14:00～

3月21日(土)

おはなし講習会
絵本のじかん 14:10～
おはなし会 14:30～

3月25日(水)

雑誌リサイクル

3月28日(土)

絵本のじかん 14:10～
おはなし会 14:30～

3月のブックバス

コース	学校	停車時間	巡回日
月A	白根北中学校	13:10～13:40	3/16 返却のみ
	大通小学校	14:00～15:15	3/16
火A	大鷲小学校	児童限定	3/17
	根岸小学校	児童限定	3/17
水A	茨曾根小学校	10:10～10:35	3/18
	白井中学校	13:10～13:35	3/18 返却のみ
木A	白南中学校	13:10～13:50	3/19 返却のみ
	庄瀬小学校	15:10～15:40	3/19
月B	小林小学校	児童限定	3/9
	月潟中学校	13:05～13:45	3/9 返却のみ
火B	白根小学校	10:15～10:40	3/10
	味方小学校	13:10～13:50	3/10
木B	白井小学校	10:15～10:40	3/12
	新飯田小学校	12:55～13:35	3/12